

タイプ1

衛星データ利用者名

一般社団法人 北見管内さけ・ます増殖事業協会

サービス提供者名

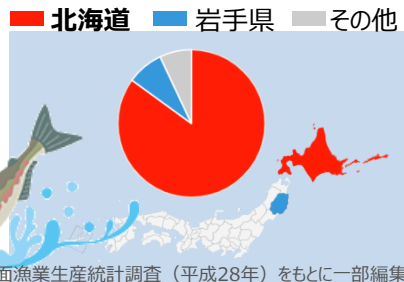
NPO法人Digital北海道研究会 日東製網株式会社
株式会社グリーン&ライフ・イノベーション 国立大学法人北海道大学

プロジェクト概要(200文字程度)

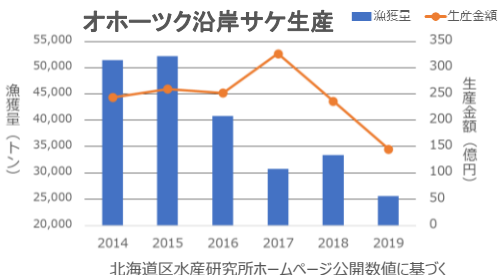
北海道水産業の主要生産物であるサケの来遊量は、近年減少傾向にある。原因に地球温暖化が影響した幼稚魚の死亡過多が挙げられるが、放流時期を最適に選択することで、この傾向を食い止めることができると期待される。そこで、衛星で観測する海面温度や、基礎生産量情報等を用いて、放流適期予測技術の向上を実証し、「つくる」と「とる」の最適化を目的とした、サケ資源の持続可能な生産支援サービスの構築と実用化につなげる。

現状

◆ サケ類の約9割を北海道が生産

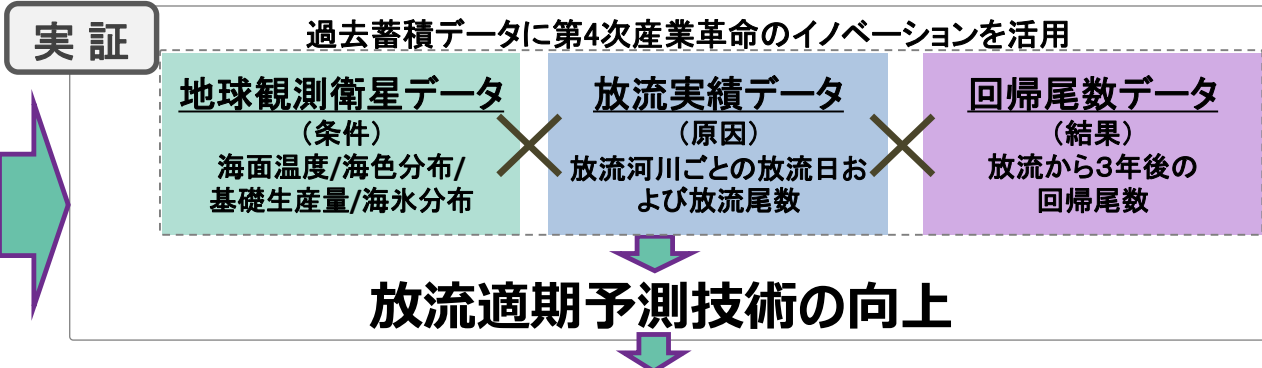


◆ 近年、漁獲量・生産金額が減少



- ◆ 放流した稚魚が環境に馴染めず、その多くが死亡することが減少原因の一つ
- ◆ 激変する気候に適応した稚魚放流が、死亡率の低減の解決策として期待

目的: 衛星データを活用して最適な稚魚放流時期を水域ごとに予測し、サケ回帰資源の持続的利用を支援する。



放流時期レコメンドシステム(イメージ)

活用衛星

しきさい

だいち2号

ひまわり

Hot Cold

20XX年5月5日

網走 知床

GO! SALMON

Designed by macrovector/freepik.com Landsat-8 (courtesy of the U.S. Geological Survey) 全国市区町村界データ/ESRIジャパン株式会社

※1 フォントサイズは10pt以上とすること。 ※2 A4サイズ1枚以内に収めること。 ※3 申請代表者を下線で示すこと。